多古町政を問う

問 道路インフラの機能強化が必要では

答 国道および県道の道路整備は重要です

飯田 良一 議員

所要時間 62分

もっと強く要望を

問 空港の機能強化と圏央道の開通を念頭に置いた物流拠点整備や企業誘致の動きがあり、それに伴う移住・定住が進みますと交通量の増加が見込まれます。本町は空港と香取・海匝地区や鹿島工業地帯を結ぶ主要道が通る要衝、要として渋滞の少なくなるよう道路インフラの機能強化が必要では。

町長 当地域での国道及び県道の道路整備は重要です。道路整備は長い年月が必要となる事から道路関係予算全体を増額し必要な予算を確保する事を県並びに関係市町と一緒に国などに対し要望活動を併せて行います。

問 県議会をみますと国道の除草作業に関してまでも一般質問などで発言されています。町長がご支援、ご支持頂いた県議会議員の方はそうした発言というのはされておりませんので強く要望をしては。

町長 県議会議員の先生方はバランスよく全ての地域についてお考えを持って要望して下さるというふうに考えています。なぜかと申しますと、道路は続いておりますのでその区間だけがよくなれば全体の物流、あるいは車の流れ、人流がよくなるものではございませんのでトータルとして道路行政は考えなければならないというふうに考えています。

道路環境の充実を

問 成田土木事務所管轄内において本町で進められている公共事業に関しボリュームが少なく町民の皆さんが期待されているところには遠く及んでいません。もっとやっていただき、町民のために何とかしてほしい。そういう政治姿勢で臨んでいただきたい。

町長 成田土木事務所において、しっかりやっていただいているという認識です。しかしながら、まだまだ全てが十分とは言えないというインフラ事情もございますので、要望などにつきましては、今後とも変わらずしっかりとしていくつもりです。

学校と地域を結ぶ教育組織の役割は

問 地域学校協働推進本部第1回会議が開催をされました。取組の現状と今後については。また、関わる各団体や教育組織の役割は。

教育長 学校と地域との連携を推進する調整役となる地域学校協働活動総括コーディネーターと地域学校協働活動推進員を配置し、今後はこれらの担当が中心となり、学校の要望を聞きながら、学校と地域の方々との関わりについて検討していきたいと考えています。全ての子ども達の安全・安心できる居場所づくりとなるよう、地域の方々に協力をいただきながら実施するものです。各団体を通じて地域における社会資源や人材をリスト化し、地域学校協働活動の推進に向け検討していきます。

問 教育委員会の中で、町長が任命された委員の方が辞表を提出されました。理由について極めてほっておけない重要な原因があったのではないか。

町長 一身上のご都合による辞職ということで伺っています。

問 これは任命責任者としてどういった経緯かきちんとお調べいただきたい。任命したその責任についてお考えは。

町長 状況については、この場では把握ができないようなことですので、答弁は控えさせていただきます。

その他の質問事項

●水道事業における配水管の機能強化、耐震化率の向上、広域化について

問 商店街・商工業者とともにあるべき地域連携、力強い支援を

答 連携し、継続に努めていきます

佐藤 利治 議員

所要時間 61分

町の商工業について

問 にぎわい創出支援金事業について、条件を緩和し、より多くの業種に使えるよう見直すべきでは。

産業経済課長 にぎわいを創出していく上で変更が必要な部分があれば要綱を改正する検討もできるかと思いますので、留意したいと思います。

問 商店街、商工業者との向き合い方、地域連携についての町の考えは。

町長 今後も相互に協力し合える関係を構築し、商工会とも連携して、継続に努めていきます。

産業経済課長 商店街とも連携しながら人々が各地を回遊できるような仕組みも必要だと認識しております。

商店街ににぎわいを

問 商工会事務局は昨年より2人人員が減り、7月から3人体制になるとの事。相談体制の連携、商工会と向き合い提案を受け止められるような力強い支援が必要ではないか。

産業経済課長 町に対し、様々な場面でお力添えをいただいているという中で商工会活動の促進について町も支援をしてまいりたいと思っています。提案・相談いただいているハミングカードのDX化など、一緒に勉強させていただければと思います。

町北部のこれからについて

問 JRバス佐原本線が走る県道多古栗源線は長い区間、草木が伸びて白線が見えず車のすれ違いもままならない酷い状況。担当課は県に対して、早期の伐採・整備要望、確認を。

都市整備課長 区画線、白線が見えないということは非常に危険だという認識です。引き続き県と連携を取りながら確認、連絡させていただきます。

安全な交通の確保へ

問 久賀地区、常磐地区にあっても人・車の流れ、活力を循環させるための道路整備、修繕、開発のための導線確保をすべきではないか。

都市整備課長 道路ネットワークを重要視し、町全体の発展を見据えて、多古町だけでなく近隣市町との連携をしながら研究してまいります。

町のデジタル化の展望について

問 AIを活用した相談システムについての進捗状況は。

子育て支援課長 子育て支援課においてシステムデモを行なっております。電話相談時、同時に画面からサポート、文字起こししてくれることで相談業務の充実が図れそうです。また、様々な分野にも活用し職員の負担軽減、町民の利便性の向上を図っていきたいと考えています。

問 当町におけるGIGAスクール構想の現状は。

教育長 現在のタブレット端末は、令和7年度末をもって導入から5年が経過し、保守期間満了となることから、今後、令和8年度の機器更新に向け、協議・検討を行ってまいります。

問 タブレット端末を入れ替える際はデータを削除し、町内で有効活用をすべきと考えるが。

学校教育課長 更新後の古い機器については、今後、活用方法を検討しながら、無駄にすることなく有効活用していきたいと考えています。

その他の質問事項

●事業承継問題、企業誘致、自治体システム共通化、オンライン配信授業について